



“ぴーぷる”は草津市立人権センターの愛称です。

人と人が差別なく、

同じ人間として交流できる場に…

という願いが込められています。

令和6(2024)年度人権作品最優秀作品

グループ作品の部



渋川小学校 あおぞら学級と2年生のみんな

つながる ひろがる ワタシのいろ

お互いを認め合い、尊重し合い、大切にされる社会を築くために

〒525-0032

滋賀県草津市大路二丁目1番35号

キラリエ草津 3階

● TEL 啓発担当 077-563-1177

教育担当 077-563-1765

人権相談 077-563-1660

● FAX(センター共通) 077-563-7070

● E-mail jinkence@city.kusatsu.lg.jp

● 開館時間 午前8時30分～午後5時15分

● 休館日 日曜、祝日、年末・年始

● ホームページ

<https://www.city.kusatsu.shiga.jp/shisei/sisetsuannai/jinken/jinkence/>

草津市 人権センター

検索



アクセス



スポーツを通して、人権につ

2024年度は、オリンピック・パラリンピックがフランス パリで開催され、滋賀県に関わりのある選手も出場し活躍されました。

スポーツは、体を鍛えるとともに、ストレス発散や心の成長にもつながり、心身を向上させます。そして、スポーツを通しての仲間や相手との交流によって、お互いに理解を深め、豊かな人間関係を築くことができます。

スポーツと人権について考えてみましょう。



オリンピック憲章にみる人権

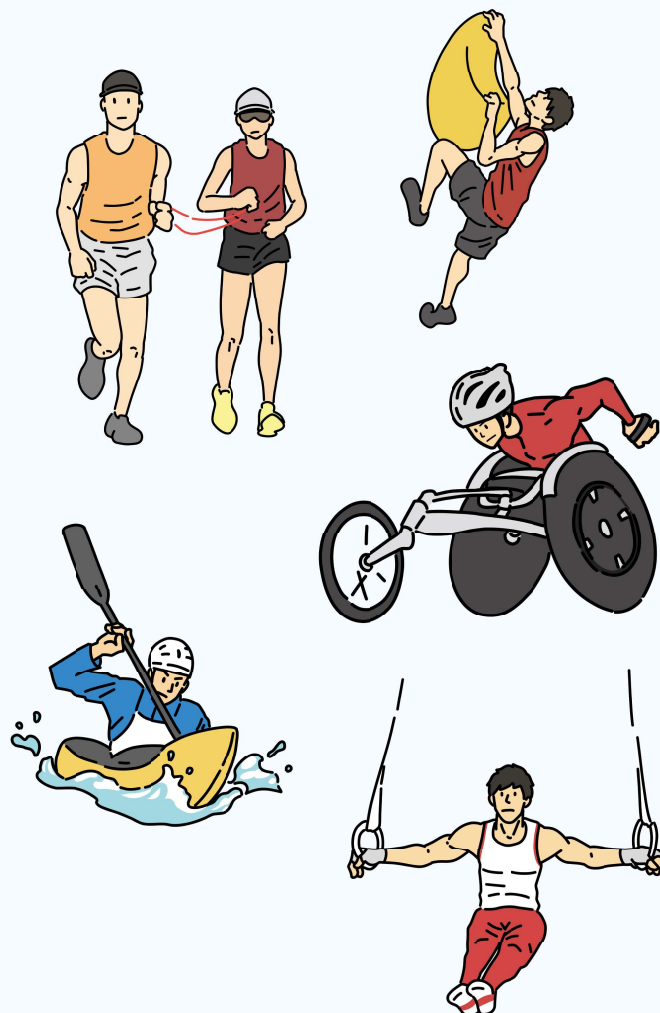
オリンピック・パラリンピックは、4年に一度のスポーツの祭典として、多くの人が選手のメダル争いに注目します。オリンピックはもともと、スポーツを通じた教育や平和のために誕生した祭典で、人権と深い関わりがあります。オリンピックの理念（オリンピズム）の根本原則の中でも、「すべての個人はいかなる種類の差別も受けることなく、オリンピック精神に基づき、スポーツをする機会を与えられなければならない。オリンピック精神においては友情、連帯、フェアプレーの精神とともに相互理解が求められる。」と謳われています。

パラリンピックとは

パラリンピックは、障害のあるトップアスリートが出場できる世界最高峰の国際大会です。オリンピックの開催年に、原則としてオリンピックと同じ都市・同じ会場で、様々な障害のあるアスリートたちが創意工夫を凝らして限界に挑むパラリンピックは、多様性を認め、誰もが個性や能力を発揮し活躍できる公正な機会が与えられる場となっています。

パラスポーツの面白さと楽しみは、近年急激に上がってきているパラリンピックの競技レベル、多様な障害があり、毎日の暮らしの中で様々な工夫をしてスポーツする選手の物語、同じ障害でも一人ひとりの状況が異なるゆえに自分に合った技術を見出し、作り出すパラスポーツ独自のスポーツ技術や、戦術などがあります。

パラスポーツを楽しむ、その背景や挑戦する選手の精神を知ることは、多様性を理解し、人権を考える機会となるのではないのでしょうか。



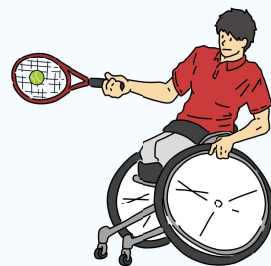
いて楽しく深く学びましょう!

オリンピックが直面してきた人権問題

1896年の第1回アテネ大会では、女性は参加できませんでした。女性が参加も観戦も許されなかった古代オリンピックの祭典競技をモデルにしたためです。1900年の第2回パリ大会からは、女性も参加できるようになり、時代とともにその競技数も増えていきました。ところが、1964年の東京大会の陸上競技で、性別を疑う議論が起こりました。その結果、1968年のメキシコ大会から、女性にだけ性別検査が始まり、女性の人権侵害にあたりと多くの抗議がされますが、1999年に中止されるまで30年以上も続けられました。

日本では、2012年、女子柔道界における指導者による選手への暴力行為が明るみに出ました。また、学校における運動部活動の場でも、指導者によって暴力行為を受けた高校生が自ら命を絶つという痛ましい事件も起こりました。

この出来事を受け、2013年4月25日、日本体育協会（現：日本スポーツ協会）、日本オリンピック委員会、日本障害者スポーツ協会（現：日本パラスポーツ協会）、日本中学校体育連盟、全国高等学校体育連盟の5団体が共同で、「スポーツ界における暴力行為根絶宣言」を採択しました。



誰もが楽しめるスポーツを

法務省では、スポーツ組織と連携協力した人権啓発活動を行っています。この活動は、フェアプレーの精神等をモットーとし、いじめの防止など主に子どもに関わる人権尊重思想を若年層に普及させるための事業です。県内では、大津地方法務局をはじめとする滋賀県人権啓発活動ネットワーク協議会が、県内唯一のプロバスケットボールチームとして活躍している滋賀レイクスと一緒にスポーツ人権教室を実施しているほか、集客力のある公式戦などでの人権啓発広告の掲出や啓発ブースの設置を行っています。



スポーツ人権教室

2025年には国スポ・障スポ2025が開催されます。このスポーツ大会では多くの選手が競い合い、試合後にはお互いの健闘をたたえ、交流を深めあう光景が見られることでしょう。

私たちもスポーツを楽しみながら、交流を深め、お互いに相手を尊重する心を育んでいきましょう。

ルールの下での平等

スポーツは、それぞれの種目でルールが定められています。体格などの面から性別や体重で分けられるものもありますが、基本的にはルールに則して行われます。このため、出身地、地位などに関係なく、選手は平等に扱われ、それぞれの力を発揮して正々堂々競い合います。スポーツはルールの下でみんな平等です。

湖国の感動 未来へつなぐ

わたSHIGA輝く
国スポ・障スポ 2025

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会



作文の部

平和と夢

老上中学校 三年 梶井 咲生乃

私には夢があります。看護師
 になって、病気や怪我で不安にな
 る患者さんを支えることです。
 そうなりたいと思わせてくれたの
 は、風邪を引いたのに薬が苦手
 で飲めずにいた幼い私を、女性
 看護師さんは「お薬飲むのを頑
 張ったら、あなたを虐める悪いば
 い菌さんをやっつけることができ
 るからね。」と応援してくれたか
 らです。この日を境に、私は看
 護師を目指すようになりました。
 ほんの小さな出来事から、未来
 の自分像が見え始めたのは、中
 学二年生で医療の仕事を体験し
 てからでした。体験先で働く方
 たちは、自分よりも年上だった
 り、大きい身体ของผู้者さんの着
 替えや食事のサポートをしたり、
 精神的にも体力的にも厳しいお
 仕事をされていました。また、
 緊急時には、患者さんの元へすぐ
 に駆け寄り、冷静かつ的確な指

示を出し合っていました。その中
 に、私たち体験生も加わりまし
 た。体力的に厳しいこともありま
 したが、患者さんの晴れやかな
 笑顔と、「ありがとう」といった感
 謝の言葉のハッピーセットをもら
 えて、まだまだ頑張れる、もっと
 頑張れるという気持ちになりました。
 この気持ちになった途端、「あ
 あ、これが『やりがい』というもの
 なんだ。」と、驚くほど自然に、
 自分の中へと入りこみました。こ
 れをきっかけに、よりいっそう「や
 りがい」を味わえる看護師が、自
 分には輝いて見えたのです。
 私がこんな風に夢を持ち、夢
 を追いかけることができているの
 は、自分の日常からは得られな
 い非日常を体験して、その輝き
 を発見できたからです。しかし、
 世界では、「私の知っている日常と
 違う『日常』」しか知らない子、
 そこで生きている子たちがいるの

です。民族間の紛争や国どうし
 の争いに巻き込まれている子たち
 は、過去も現在も存在します。
 これが現実だという事実が、とて
 も残念です。なぜなら、二度も
 あった世界大戦の悲惨さを、先
 人から、歴史から受け継ぎ、学
 んできた私たちが、再び過ちを
 犯すという禁忌事項きんきじこうをしてしまっ
 ているからです。その過ちに巻き
 込まれている子たちには、私と同
 じように未来があり、私と同じ
 ように夢を持って実現していく権
 利があります。現に、このよう
 な状況の中で生きているため、
 素晴らしい夢を持っていたとして
 も、諦めてしまう子たちもいる
 はずです。そのような子たちを
 増やさないために、国が、大人
 が、子どもたちに寄り添うべきな
 のではないでしょうか。また、戦
 争で傷つけたことは、平和と希
 望、そして人のあたたかな心だ
 と、お互いが気付くべきではない
 でしょうか。



2月11日(火・祝)「人権尊重と部落解放をめざす市民のつどい」で、表彰式と作品の発表、
 展示会(全入賞作品とグループ作品)を開催しますので、ぜひお越しください。

令和6(2024)年度人権作品最優秀作品

ポスターの部



老上こども園 5歳児
田中 涼雅



老上小学校 1年
谷口 蒼真



渋川小学校 2年
佐藤 あいり



志津小学校 3年
大戸 朔咲



玉川中学校 3年
梶原 愛

詩の部

大好きでいられるように

新堂中学校 三年

一浦 愛衣

私はおかしいとは思わない
君は女の子で「学ランを着たい」と思うこと

私はおかしいとは思わない

君は男の子で「髪を伸ばしたい」と思うこと

私はおかしいとは思わない

君が「私には性別はない」と思うこと

なのに、どうして君は好きなことを

しないのだろう

きっと、周りから聞こえる「おかしい」

のせいだろう

君の好きなものを君が否定しないで
人の好きなものを君が否定しないで

君が好きなものを好きでいられるように
君らしい君を君が大好きでいられるように



標語の部

みんなでね

えがおでいると

たのしいな

常盤こども園 三歳児

福井 梨生親子

やめようが

言える学校

いじめゼロ

老上小学校 六年

前川 葉月

辛いとき

まずは自分を

ほめてみよう

匿名



第41回 草津市部落解放青年集会

令和7年1月26日(日)

13:00開場／13:30開演

草津クレアホール

(草津市野路六丁目)

差別をなくすエネルギーをもらおう

入場無料
予約不要



昨年の様子

手話通訳
・
託児あり

希望者は1月20日(月)までに人権センターへ
申し込みが必要(無料)

問い合わせ先 草津市立人権センター

☎ 077-563-1765(教育担当)

第47回 人権尊重と部落解放を めざす市民のつどい

令和7年2月11日(火)・(祝)

入場無料 予約不要 定員650名(先着順)

草津クレアホール

(草津市野路六丁目)

12:30受付・13:30開演

開会行事等 人権作品入賞者表彰式・発表

講演内容

「演奏に込められた思い」

～「関係ない」から気づけるように～

丸岡朋樹+北芝解放太鼓保存会『鼓吹』

- 人権作品の展示会および
朝野温知さんパネル展を
同日開催します



手話通訳・要約筆記・託児あり

託児希望者は1月31日(金)までに
人権センターへ申し込みが必要(無料)



問い合わせ先 草津市立人権センター

☎ 077-563-1177(啓発担当)

人権作品 展示会のお知らせ

令和6年度の人権作品の入賞作品とグループ作品を展示します

日時 令和7年2月16日(日)～2月18日(火) 9:00～17:00

場所 キラリエ草津6階大会議室



人権相談

ご利用ください!

人権センターでは、人権に関する相談を受け付けています。

人権にかかわる様々な悩みや困りごとをお聞きしてアドバイスを行っています。相談は無料です。お気軽にご相談ください。

●相談日 月～土曜日 (祝日・年末年始を除く)

区分	日程	相談員
人権擁護委員による相談	月曜日 午前9時～午後4時(正午～午後1時を除く)	人権擁護委員
常設相談	火～土曜日 午前9時～午後4時(正午～午後1時を除く)	人権相談員
弁護士による相談	原則として、毎月第4火曜日の月一回 午後1時30分～午後4時30分	弁護士 事前予約必要

電話でもお受けします

<相談専用電話>

077-563-1660

(秘密は厳守いたします)